

流山市補助金等審議会会議録（第13回）

- 1 開催日 平成23年11月15日（火）
午後2時から
- 2 場所 流山市役所第2庁舎3階305会議室
- 3 出席委員 柴委員、前田委員、山口委員、伊藤委員、西村委員
- 4 欠席委員 廣田委員、松本委員
- 5 事務局 秋元財政調整課長補佐
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題

（1）新規及び増額補助金等に対するヒアリング（1日目）

対象課：リサイクル推進課、都市計画課、障害者支援課、
保育課、子ども家庭課、学校教育課

（2）その他

8 配付資料

（1）補助金等審議会ヒアリング日程表

（2）補助金等調査票・補助金等適正化実行プラン

（3）平成24年度新規補助金及び増額等補助金に係る評価について

（伊藤会長）ただいまから、第13回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、出席5名、欠席2名ですので、会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめ報告申し上げますが、流山市では、「審議会等の会議の公開に関する指針」を策定し、審議会等の会議は原則公開とする旨規定しておりますことから、本審議会も公開といたしますので、あらかじめご了解いただきたいと思います。

本日は、平成24年度新規及び増額補助金等に対するヒアリングを行います。

（事務局）ヒアリングの前に、案件の変更について説明いたします。前回の審議会では、19件を審議対象としましたが、3件減り、16件になりました。職員互助会は150万円の増額でしたが、予算査定で150万円カットしたため昨年度と同額となりました。地球温

暖化対策奨励金は、700万円の増額でしたが、県の補助金が歳入として見込まれるようになりました。街づくり支援団体活動費補助金は、担当課が予算要求を取り消しました。したがって、3件減らした16件でヒアリングをお願いします。

(伊藤会長) それではヒアリングを開始します。

【再生資源物回収事業奨励金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去3年間で行った改革を中心に5分程度でご説明下さい。

その後、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【リサイクル推進課 説明】

(山口副会長) 他市も集団回収を行っているのですか。

(リサイクル推進課) 各市によって状況は違います。集団回収の一元化をしている大きな所は、横須賀市です。

(山口副会長) 行政回収の委託費はいくらですか。

(リサイクル推進課) クリーン推進課が発注しており、2業者で8,300万円～8,500万円位で委託しています。集団回収にした場合、費用が削減できますが、行政回収では、資源物としての売払い金があり、集団回収ではこれが無くなりますので、相殺すると差引ゼロになります。市民の方には一本化して分かりやすいと思います。リサイクル団体へは報奨金が支払われますので、そのお金が自治会や色々な団体に行き、地域の活性化やごみ意識を高めることに繋がると思います。奨励金は業者に支払うものですが、リサイクル団体が回収に行く費用です。すべての資源物が有価になるとは限りませんので、そういう面も考慮しながら奨励金を支給しています。

(西村委員) 前回資料では、行政回収2社、集団回収5社でしたが、同じ業者ですか。

- (リサイクル推進課) 行政回収していた2社も集団回収し、今までの集団回収5社と合わせ、合計7社になります。
- (西村委員) 単価は違いますか。安くなるのですか。
- (リサイクル推進課) 奨励金は、1kg当たり紙布類9.8円、ビン缶類は12.8円で、集団回収のほうが安くなります。
- (西村委員) 行政回収から集団回収に変える背景は何ですか。
- (リサイクル推進課) 資源物の有効活用が背景にあります。昔、廃品回収があったのを覚えていらっしゃると思いますが、それだけですと、燃えるごみの中にも資源物が入ってきてしまいました。集団回収の補完ということで行政回収を始め、資源物の有効活用として二本立てになりました。昨今、集団回収7割、行政回収3割になり、これらを一本化して、市民の方に資源化の意識を高め、報奨金を通して地域の活性化を図った方がより効果的であると考え、一元化を進めるものです。
- (前田委員) 2,900万円増額になりますが、奨励金が増えると理解して良いですか。
- (リサイクル推進課) 見込みでは、行政回収約3,000トン分が集団回収に移行するとその分の奨励金が増えると考えています。
- (前田委員) 集団回収の方が有利だという事ですね。その結果をどう見ているのですか。
- (リサイクル推進課) 行政回収の8,300万円は、来年度ゼロになり、結果が出ます。
- (前田委員) 2,900万円が増えて、その効果がどういうふうになるのか実行プランに表してほしかったです。
- (山口副会長) 増額の必要性を記入してもらえれば、わかりやすくなると思います。
- (リサイクル推進課) はい、わかりました。
- (西村委員) 前回の資料で集団回収8,720万円、行政回収8,400万円掛っています。8,400万円はどこにいったのでしょうか。
- (リサイクル推進課) 8,400万円は、行政回収する委託の費用です。それが、来年度ゼロになります。行政回収3,000トンが集団回収に移行します。集団回収の量が増える為、その分の奨励金を上げました。
- (西村委員) 上がり方が少ないのではないですか。

- (山口副会長) 8,400 万円の中に人件費が入っていて人件費が無くなり回収だけの数字になるのですよね。
- (リサイクル推進課) はい、そうです。3,000 万円が移行して、後5,000 万円はどこにいったかという事ですよね。行政回収の中で資源物を売っている約 3,000 万円がありますが、その歳入がなくなり、ほぼ差引ゼロになります。分別をしているクリーンセンターのリサイクル館の仕事量が減りますから、それも効果があると思います。トータルで考えた場合、集団回収の方が効果的です。ここでは読み取れない部分として、あくまでも補助金は奨励金だけの話で、この裏には報奨金があります。ワンセットで考えないといけません。報奨金はリサイクル団体、自治会に払うものです。奨励金は補助金で、報奨金は補助金ではなく手数料です。
- (伊藤会長) 実行プランに私達に解るように書いていただくとありがたいです。
- (山口副会長) プラス面を報奨金を含めた全体的なトータルで書いていただければ解り易かったと思います。

【街づくり組織活動費補助金】

- (伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。
- 始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」を中心に5分程度でご説明下さい。
- その後、私たちから質問を行いたいと考えております。
- それでは、お願いします。

【都市計画課 説明】

- (前田委員) 地域まちづくり協議会の活動と密接に関係しているのですか。
- (都市計画課) 街づくり条例は、建物の形体や建物の配慮すべき事項を定める計画です。マンション建設の紛争を未然に防ぐ為に、自分達の街は、どういう風な街であるべきかを考えます。地域まちづくり協議会は何でもするのですが、街づくり条例はハード面、建物の

建築分野や土木分野です。

(伊藤会長) 地域まちづくり協議会、自治会、街づくり条例の三者のダブリや調整に問題がありそうですが、解決できますか。

(都市計画課) 街づくり条例は、小さい団体になるかと思います。地域まちづくり協議会、自治会は、広範囲になりますので、その中で建物を自分達で自分達の事を規制する計画になると、合意形成が図りづらいので、自治会等の中の一部で、建物は自分達の地区だけでも規制をして守っていかうとする計画づくりの支援です。

(前田委員) 建物面だけではない部分があるのではないですか。

(都市計画課) 計画づくりをする為の組織と限定しますので、広くならないと考えています。

(前田委員) 市民等の自主的な街づくり活動を支援する団体とありますが、どういうものを考えているのですか。

(都市計画課) 例えば、自治会の班で自分達の住む所は戸建てにしたいと考え、それを段々と範囲を広くしていく、まず、そこだけで規制をしていく、合意形成を図っていくという計画を作ってもらいます。

(西村委員) 市内に、どの位ハード面の整備をしなければならない地域があるのですか。

(都市計画課) 都市計画法に基づく地区計画が34ヶ所、建築協定が9ヶ所あります。決定するためには、住民の8割から9割の合意形成でハードルが高いので、もう少し、取りかかり易くするために街づくり組織を作って勉強していただくと考えています。自治会で紳士協定的に取り組んでいる所が10ヶ所程度ありますので、そういう所でまちづくり組織の計画を作ってほしいと思います。

(西村委員) 周知活動をしているのですか。

(都市計画課) 3月に条例を上程予定ですので、条例が出来れば、計画が作れるので、広報等で周知していきます。街づくりを明文化してトラブルなく地域で事業が出来れば、入ってくる人が、住みやすく選びやすくなるかと思います。

(西村委員) 補助金の対象数は増えていくのですか。

(都市計画課) 期限は3年と限りますので、数はある程度までと思います。

(山口副会長) 3年間の限定の中で、成果はどこまで求めるのですか。
どのように有効利用されていくのかイメージがわかりません。

(都市計画課) 最初は、自分達で勉強し、合意形成し、最終的には計画が出来れば、市で認定します。

(山口副会長) 地域の合意形成は、どれ位求めるのですか。

(都市計画課) まちづくり条例の中で、まちづくり計画を作るためには、地区の3分の2以上の合意となっています。組織の認定をする際に区域設定をして、区域の3分の2以上の合意を条例の中に入れる予定です。

(前田委員) 自治会が中心になるのですか。新しい組織を作るのですか。

(都市計画課) 新しい組織を作らなくてもいいと思いますが。

(前田委員) 合意形成を図るといのは、議論を地区がするのですよね。住民のイメージがわかりません。

(伊藤会長) 広報ながれやまに呼びかけするのですよね。行政が強引にやるのではなく、市民が参加して色々な意見を取り入れたいと考えているのですか。

(都市計画課) 自分達の住む地域は自分達で考え、条例の中では、市の計画等を提案し、市民の意見を取り入れ、街づくりをしていきたいと思っています。

(前田委員) 地域で動いていきますか。

(都市計画課) 江戸川台の大きな西自治会では、2丁目だけで地区計画を作ったり、4丁目だけで地区計画を作ったり、丁目毎に地区計画街づくりをしています。大きな地区だと合意形成しづらいので地域を限った中で合意形成を図っていきます。

例えば、高層マンションの建設計画があると、周辺の住民は大きな物を建ててほしくないのが、反対運動がおきますが、自治会の中で離れている住民は、反対運動はしません。周辺住民だけで高層マンションの建設反対という事があります。小さな地区周辺住民が自分達で街づくり計画ルールを作っていくのが狙いです。

(山口副会長) 3分の2の同意をとるには、どういう組織になるのか、効果があるのか。

(都市計画課) 実行あるべき物まで作り込むのは、プロが入って作ら

なければなりません。こういう街にしたいという思いを出してもらい、そこから先は、都市計画サイドで知恵を出したり、街づくり相談員という派遣制度も利用してもらい、法的にあったものの作り込みも可能だと思います。

(西村委員) 街づくり相談員がいれば良い街になるけれども、関心の無い街との地域格差が出ると思います。

(都市計画課) 市では広く都市計画決定をしてきましたが、地域の実情が把握できていません。市で決められたもので良いとする地域と自分達で規制していきたいとする地域があります。

(西村委員) 市からそういう強制を受けている感じはしません。

(伊藤会長) 市民の参加と意見を取り入れたいという主旨だと理解しています。

(前田委員) 概ね、どれ位の動きがあるのですか。

(都市計画課) 地区計画が34ヶ所、建築協定が9か所、紳士協定が10地区程度あります。

(前田委員) 新しい活動を支援するのですか。

(都市計画課) 自分達の建物のルールを自分達で作ってもらいます。

(前田委員) 活動は、市の思惑どおり進むとは限りません。

(都市計画課) 計画の範囲内で作ってもらいます。市の計画は大きなものなので、細かいところは無いので、そこを地区毎に作ってほしいという考えです。

(伊藤会長) ありがとうございます。

【障害者支援施設等通所交通費助成金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去3年間で行った改革を中心に5分程度でご説明下さい。

その後、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【障害者支援課 説明】

(前田委員) 前回も A 評価妥当でした。どこが増えて何を審議会に提案しているのか説明して下さい。

(障害者支援課) 対象者数が平成 21 年度 156 件、平成 22 年度 191 件と増えています。

(山口副会長) 平成 23 年度の見込みは 233 件で、平成 24 年度は更に伸び率 14% 増ということですね。

(障害者支援課) はい、そうです。

(伊藤会長) ありがとうございます。続いて、説明をお願いします。

【就労支援施設利用者負担助成金】 【障害者支援課 説明】

(山口副会長) 新規利用者 1 名が増えた事による増ですか。

(障害者支援課) はい、そうです。

(伊藤会長) ありがとうございます。

【私立保育所 A E D 設置事業補助金】

【私立保育所放射性物質除染事業補助金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去 3 年間で行った改革を中心に 5 分程度でご説明下さい。

その後、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【保育課 説明】

(西村委員) 除染事業の平成 23 年度 151 万 7 千円は、実施済みですか。

(保育課) はい、高圧洗浄分です。

(西村委員) 園庭の表土は、まだですか。

(保育課) 園庭の表土は、今年度 12 月議会に補正予算で計上し、1

月から3月に実施する予定です。

(西村委員) 予算要求額が、317万円ですが、何の分ですか。

(保育課) 表土の掘削分です。0.3マイクロヘルムの基準値を上回っている保育所が私立の中で13園中4園あり、今年度の補正は、4園を対象としています。それ以外の9園は、部分的に高い所があり、それに対応する為に業者から見積をとっています。300万円は工事費の1/2の額で工事費は600万円を超える予定です。

(山口副会長) AEDは、対象数の増加ですね。除染の費用は流山市でなく、東電に出してもらいたいですね。

(保育課) 市長は国、東電に要求していますが、残念ながら、望んでいる回答は得られていません。

(西村委員) 除染の効果はありますか。

(保育課) 東葛6市で放射線量の協議会があり、東京大学の先生と柏の葉がんセンターの先生に入っただいて、専門で対応しています。流山市の数値は、すぐに人体に影響はないようですが、保護者の方の不安を解消するためにも、可能な限り対応していきます。

(西村委員) AED設置事業の算出基準の金額が合いませんが。

(保育課) リース料の一例、単価5,800円を掲載しましたので、契約により、年度によって単価が動きます。

(西村委員) 5年間のリースが終わったら器具は、どうなるのですか。

(保育課) 買い取りもできますが、命にかかわる物ですので、最新の物を更新してリースしていきたいと思っています。

(柴委員) バッテリー切れがあると聞いていますが。

(保育課) ご指摘のとおり、そのような事がありますが、不備のあるものは、回収し、改善された物を供給されるという契約になっております。

(伊藤会長) ありがとうございます。

【私立幼稚園心身障害児指導補助金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去3年間で行った改革を中心に5

分程度でご説明下さい。

その後、私たちから質問を行いたいと考えております。
それでは、お願いします。

【子ども家庭課 説明】

(伊藤会長) A評価で続いていますので、よろしいでしょうか。
ありがとうございました。

【休憩】

【私立幼稚園放射性物質除染事業補助金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」を中心に5分程度でご説明下さい。

その後、私たちから質問を行いたいと考えております。
それでは、お願いします。

【学校教育課 説明】

(山口副会長) 今年度の270万円と来年度24年度は、同額ですか。

(学校教育課) 各園で状況は異なりますが、一番効果的な方法を協議しながら、これまでの実績に基づき計上しました。

(山口副会長) 先程、保育課から除染方法として、U字溝の洗浄や表土の掘削の話がありましたが、同じですか。

(学校教育課) 同じです。年明けに線量を測定しながら、効果的な方法を検討していく必要があると思います。

(山口副会長) 来年度も今年度と同額の270万円を見込んでいるだけですか。

(学校教育課) はい、そうです。

市内の私立幼稚園は9園あり、今年度6園の申請があり、その実績を踏まえ、園によって状況は異なりますので、若干高めの1園

30万円、9園270万円で算出しました。0.3マイクロメートルの基準値を上回っている園が除染対象ですので、全9園対象にならないかもしれません。実際の除染金額も園によって差が出ます。

(伊藤会長)ありがとうございました。

(伊藤会長)次回は、11月22日火曜日2時からとさせていただきます。

これで第13回補助金等審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。

午後3時50分解散